

学ぶ力とは

変化の激しいこれからの社会を生きる子どもたちに身に付けさせたい力の一つとして「確かな学力」があります。学校では、学んだことが力となりその先につながっていくように取り組んでいますが、そのためには学んだことを日常生活で生かしたり、家庭での経験を学校生活に生かしたりするなどと、自分で意欲や疑問をもちながら、身に付けた知識を生かし、見通しをもって考えたり、計画を立てて家庭学習に取り組むことで主体的に取り組む力や集中力を養ったりするなど、学校と家庭が協力することで、学びの成果を何倍にも高めることができます。

家庭の安らぎの中に「学び」の環境を

進んで学ぼうとする力は、子供たちが一番安心できる家庭で、安定した生活リズムの中で、毎日学習を積み重ねることで育ちます。また、家族に認められ励まされることで、「がんばってよかった」という充足感や「見守られている」という安心感の中で、自分らしさや努力することに自信をもつようになります。学校と家庭とが協力し合って、子供たちの「学力」を大きく育ていきましょう。

家庭が心がけること

- ☆生活リズムを整え、決まった場所と時間で、**学習に集中できる環境を整える。**
- ☆がんばりを認め励まし、**温かいふれあいの時間をもつ。**

学校が心がけること

- ☆基礎学力や学び方を身に付け、主体性を育てる**学習指導**を行う。
- ☆子供のよさを生かした、家庭学習の提案をする。

- * 家庭(保護者)と学校(教師)とが、家庭学習の習慣化を目指して協力し合うことが、子供たちの心を耕し、「確かな学力」を育てます。
- * 子供たちの家庭学習が充実するよう、学びの環境を整え、家族の温かいふれあいを増やしていきましょう。